



よい子に北山



令和7年2月10日 第24号

1月20日(月)～24日(金) なわとび(長縄8の字チャレンジ)週間

長縄跳びの取組は、ある意味、学級経営の集大成でもあると考えます。それは、学級ごとに定めた目標回数を超える記録更新ができたか、その結果だけが大切なのではないということ。もちろん結果が伴えばいいことにはないのですが、学級経営としては、学級みんなの気持ちを一つにできたか、深めてきた絆を感じられる関わり方ができたか。一生懸命になればなるほど様々な問題や課題に直面します。そのときいかに乗り越えるか、などが問われます。

この間、各学級では、たくさんのドラマがありました。その詳細はお子さんからお聞きいただければと思います。※以下が各学級の結果一覧です。

学年	1組		2組		3組		4組	
	目標	最高記録	目標	最高記録	目標	最高記録	目標	最高記録
1年	80	112	75	102	150	154	100	79
2年	100	113	100	106	100	138	100	111
3年	100	89	150	178	145	151	200	180
4年	170	173	165	151	150	116	200	163
5年	220	247	230	214	200	211	230	252
6年	300	283	300	297	300	300	250	268
ひまわり	100	122						

2月5日(水) 本年度最後の授業参観

早いもので、あっという間に1月が過ぎてしまいました。そして、立春を迎えたタイミングでの寒波。そんな寒い中、本年度最後の授業参観にたくさんの保護者の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。今回は1年生、4年生、6年生が発表会形式で行いました。ステージやスライドが準備され、個々が主役となって発表する場が設けられていました。練習した成果が発揮できていればよいのですが、結果はいかに！



きたちゃんインフォメーション



◆学校給食週間 (1/24 ~ 1/30) の取組◆

今年度も学校給食週間にあわせ、23日には調理員さんに日頃の感謝の気持ちを伝える「給食感謝の会 (ICT 放送)」、27日には「児童募集献立」による給食の提供がありました。

〇年〇組 〇〇 〇〇 「寒さのかべを乗り越えろ！笑顔あふれるぽかぽか給食」

◆令和6年度大府市教育表彰◆

1月30日に行われた市の表彰式において、本校の教員が表彰規則第2条第4号該当者として表彰されました。現職研究主任として本校教員のために尽力したことが認められました。

◆「令和6年度大府市優良児童生徒」表彰◆

2月8日に行われた市の表彰式において、本校の優良児童として2名が表彰されました。

〇年〇組 〇〇 〇〇 〇年〇組 〇〇 〇〇

◆「令和6年度大府市健康賞」受賞◆

大府市では、適切な生活習慣を学齢期から身につけ、心身ともに健康で活力のある児童生徒を育成するため、「健康賞」を授与しています。本年度の受賞者です。※3名は10日の朝会において伝達表彰後、健康についての考えを一言ずつ述べてもらいました。

〇年〇組 〇〇 〇〇 〇年〇組 〇〇 〇〇 〇年〇組 〇〇 〇〇



Tsubuyaitter@kitayama-e. 3の1 『チャレンジ』

長縄チャレンジがありました。去年のことを思い出しながら目標を考えて子どもたちに言ったら、150~200回ぐらいという意見が多かったので、そんなに跳べるんだと思ったら最初の記録は42回でした。連続で入れる子もそんなにおらず、そもそも入れない、端で跳ぶ、出るのが下手で縄に引っかかるなど、苦手な子が多いようでした。それでも100回は跳びたいと決め、頑張って練習したら、最終89回まで跳べました。振り返りをすると、目標には届かなかったけれど、記録が伸びてうれしかった、励まし合えて頑張れてよかった、最初よりはみんな上手になったと思う、と前向きな声が多かったです。でも、やっぱり悔しいので、100回まで頑張りたいという意見があり、1月中に3分で100回跳べたらお楽しみ会を開こう、と決まりました。なので、もうしばらく長縄チャレンジ、頑張ります。 ※後日「お楽しみ会」ができました！

ケロけるん

湯船に浸かりながら、日中
読んだ他校の学校便りの一節
を思い出した。待ち遠しさを
感じさせる「春の足音が近づ
いている」の記述に、自分も
こんな表現がしたいと思った。
と、こうした思いをもつまで
が一般的かもしれない。私の場合は
もう少し考えた▼「足音がするって
ことは、足があるってことだよな。
春ってどんな足だろう？」少なくと
も視線の先にある、すね毛の生えた
足ではないだろう。イメージとして
はボッティチェッリの描く女神。ふ
わふわでスケスケの服をまとう感じ。
アルチンボルドの「春」(季節の花
をパズルのように組み合わせる描く
肖像画)調でもいい。春一番が吹き、
足から花々が舞う景色が思い浮かぶ
▼そんな想像をしながら、また自分
の足に目が向く。仕事から帰宅すれ
ば足音はする。私の足音を家族はど
んな思いで聞いているのだろうか。
待ち遠しい？いやいや、今は遠い昔。